防犯対策

各地区に防犯カメラ設置を
防犯意識を地域一帯で

浅野（あさの） 修一（しゅういち） 議員

問 5月22日、小学生に対する不審者情報があり学校、地域、警察が対応に苦慮した。町の対応は。

答 **村越 情報防災課長**
町の受け止めとして、今回は幸いにも児童にけがなどはなかったものの、子どもたちは大変怖い思いをしたことと思う。
このような事態が二度と起こってはならないと認識し、今後も警察署などと連携し、安心で安全な町づくりを推進する。

問 防犯対策として住民に協力要請をし、各地区への防犯カメラの設置は出来ないか。

答 **村越 情報防災課長**
必要性のある場所には防犯カメラの設置を検討するべきだが、カメラがあるから大丈夫と過信せず、地域全体で防犯意識を高めることが重要だ。
防犯に対する意識を地域一帯で持つよう、啓発活動に努めたい。

三浦小学校前に設置の子ども見守りカメラ（令和６年６月21日）

防災減災

町内にある井戸の把握は
本年度現状把握を

問 町内にある井戸の把握は出来ているか

答 **村越 情報防災課長**
町では現在、井戸の所在地や数は把握していないが、被災時の生活用水の確保には有効だと考えている。
本年度、地域担当職員が自主防災組織等と協力しながら現状把握を行う。

問 津波浸水想定区域に特化した避難訓練の実施、検討はできないか。

答 **村越 情報防災課長**
現在、９月の総合防災訓練と、11月の夜間津波被害訓練を全町的に行っているが、津波浸水区域に特化した避難訓練を行う計画はない。

問 建設業者等、多方面からの協力体制は、現状、どうなっているか。

答 **村越 情報防災課長**
黒潮町建設協会とは、平成19年10月に、災害時の応急対策活動に関する協定書を締結し、令和２年８月に一般社団法人高知県建設業協会を含む、４者で再締結をした。

問 弘野に被災時には一次避難場所として、平時は雨天練習場として使用可能なドーム型の施設整備は出来ないか。

答 **秋森 産業推進室長**
弘野は、都市計画公園区域での施設整備となり、県への要望が必要になる。
また、これまで土佐西南大規模公園建設同盟会からの要望として、佐賀地区東公園多目的広場に防災面に配慮した屋内運動場の整備を要望しており、町内に同様のものを２つ整備することは、難しいと考える。

子育て支援

教育長の思いや方針は
発達段階にふさわしい場を

問 教育長の支援に対する思いや、今後の方針は。

答 **宮川 教育長**
保育所は、子どもが生涯にわたる人間形成において極めて重要な時期にあり、将来の力の基礎が培えるよう、子育て環境には発達段階にふさわしい場の提供が必要であると、認識をしている。
少子化が進む状況下では、特に大切にしたい、保育行政の一丁目一番地ではないかと思っている。

問 増員を含めた職員の配置は出来ないか。

答 **岡本 教育次長**
保育所職員の配置については、保育所運営規定において、県の配置基準以上となっている。